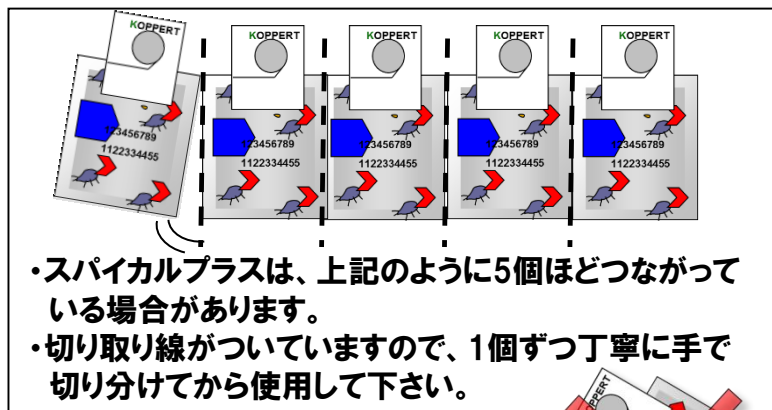
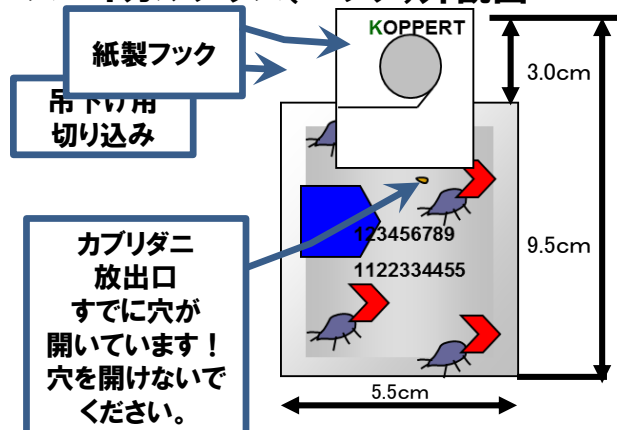
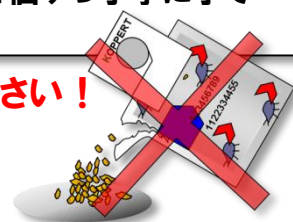


スパイカルプラス(パック)外観図



注)パックを破らないでください！

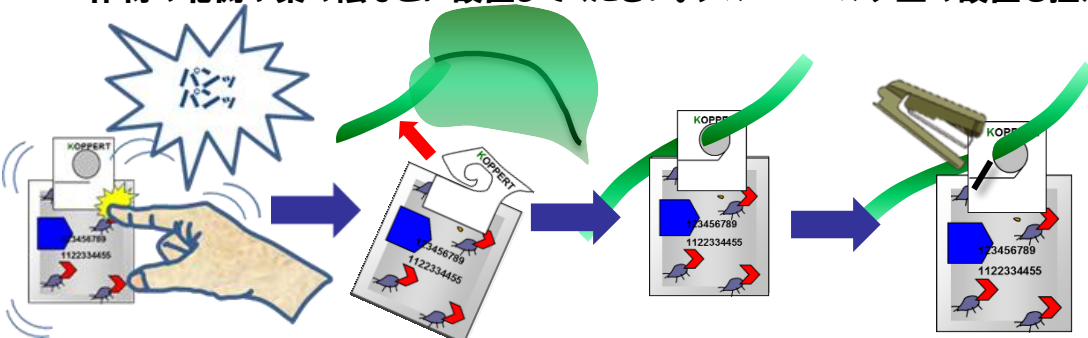


放飼(設置)方法

1. 放飼(設置)

- i) 放出口から雨水が入ってフスマが湿らない様、パック上部を指で弾いてフスマを下方に下げてください。
- ii) 紙製フックの吊下げ用切り込み部分を手で開きます。
- iii) 作物の枝・葉柄・茎などを吊下げ用切り込み部分から輪の中に入れ、吊下げます。
- iv) 湿度が高い場合や薬剤散布後など、吊下げ部分が水に濡れて柔らかくなり、切れ込み部分が開いてしまう場合があるため、下図のようにホチキス等で補強すると落ちにくくなります。

注) 直射日光が当たるとパック内部が高温・乾燥状態になり、ミヤコカブリダニの生存率が下がるので、作物の北側や葉の陰などに設置してください。シルバーマルチ上の設置も控えてください。



放飼(設置)後の注意



スパイカルプラスは左のような紙製の袋にパックが入っています。袋の中にパックから放出されたカブリダニが残っていることがあるので、パックの設置後に袋を開いた状態で圃場の邪魔にならないところに放置して、残りのカブリダニをすべて圃場内に放飼してください。



設置例: ↑ なす
なし ↓
ガーベラ ↓



スパイカルプラスの使用に当たっては、ハダニ以外の害虫防除をなるべく減らした方が定着が向上します。

アザミウマ類やコナジラミ類が発生する圃場では、粘着板の“ホリバー・ブルー”や“ホリバー・イエロー”(右図→)との併用を行ないましょう。

天敵農薬に関する情報を定期的にお届けします。「アリスタIPM通信」配信ご希望の旨と、ご住所、ご氏名、栽培作物、メールアドレス(携帯不可)を下記メールアドレスへお知らせください。
tenteki@arysta.com

スパイカル®プラスの放飼における注意点

【スパイカルプラス放飼後の注意点】

2015/4作成

＜スパイカルプラス放飼後の殺虫剤について＞

下記薬剤を推奨します。ご利用の作物で登録のあるものを利用してください。

対象病害虫	影響の少ない殺虫剤 ※2	若干影響ある殺虫剤	影響のある殺虫剤
ハダニ類	マイコターネ、ダニサラバ、スターマイト、カネマイト	アカリタッチ、粘着くん、エコピタなど (直接かかれば影響あり)	コロマイト、サンマイト、ダニトロン、アフーム、コテツなど
アブラムシ類	チェス、ウララ	モスピラン、バリアード	アーデントなど
アザミウマ類	マイコタール、ボタニガード水和剤、マッチ、カスケード	モスピラン、スピノエース	アーデントなど
ヨトウ類	プレオ、プレバソン、フェニックス、カスケード、ノーモルト	スピノエース	アフーム、アニキ

※1. 上記の薬剤以外は天敵に影響がある可能性があります。特にアディオン、アーデント、アグロスリン、アザミバスター、ロディーなどの合成ピレスロイド剤や有機リン剤、カーバメート剤、ハチハチ、アプロードエース、ピラニカ、サンマイト、ダニトロンなどは天敵に大きく影響するので使用できません。また、天敵の放飼前にこれらを散布していた場合はミヤコカブリダニがうまく定着しないことがあります。

※2. ハダニ防除でスパイカルプラスを効果的に使用するには、放飼前にハダニを徹底防除しておく必要があります。

＜スパイカルプラス放飼後の殺菌剤について＞

- ・モレスタン、ジマンダイセン、ビスダイセン、ベンコゼブ、マネーJ M、テーク、リドミルMZ、カーゼートPZ、フェスティバルM、クリーンサポート、ポリオキシシ、ポリベリン、ダイアメリットDF などの使用はなるべく避けることを薦めます。
- ・硫黄のくん煙は1回当たり2～3時間以内で行なってください。

- ・パックにカブリダニ放出口が開いており、ここからカブリダニが出てきますので、パックは破らないでください。
- ・カブリダニ放出口からの浸水を避ける為、パック上部を指で弾いてフスマを下方に落としてから吊下げてください。
- ・スパイカルプラスは徐放性製剤となっています。既存のボトル製剤と比較して作物への分散が遅い傾向にありますので、早めの放飼を心がけてください。
- ・摘葉で取り除いた葉などにミヤコカブリダニが残っていることがありますが、病害虫管理の面からもハウス外に捨てて構いません。但し、放飼後2週間はなるべく摘葉しないでください。
- ・葉面散布剤の使用は可能ですが、機能性展着剤(まくびか、ミックスパワー、ニーズ、ブレイクスルーなど)は、なるべく使用しないことを薦めます。

スパイカルプラスと相性の良い微生物農薬

コナジラミ類、アザミウマ類に感染するカビの仲間

「マイコタール」・「ボタニガード水和剤」

・ミヤコカブリダニにはほとんど影響が無く、施設栽培の野菜類で使用可能(農薬散布回数にカウントされない)

・プレオ、マッチ、ネオニコチノイド系薬剤などと混用すると効果的



「スパイカルEX」

・「スパイデックス」

・ボトル製剤のスパイカルEXも並行して販売しています。

・いちご等のハダニ類には即効性が要求されるため、これまで通りスパイカルEXとスパイデックスの同時放飼を推奨します。



スパイカルプラスと併用できる天敵 「スワルスキープラス」・「スワルスキー」

・スパイカルプラスと同じく定着しながらコナジラミ類・アザミウマ類を防除

・施設栽培の野菜類などで使用可能(トマトを除く)

・放飼後の管理(使用薬剤など)はスパイカルプラス・スパイカルEXに準じる

